

一、佐藤内務技師、伊藤内務屬午後祇園乙種貸座敷業組合事務所及宇治京都腦病院ノ視察ヲ爲シタリ(復命別項ニアリ)
十月二十四日 水曜 少雨

一、加藤防疫官午前十時二十七分著京セリ

一、喜島内務技師、伊藤内務屬今朝大阪へ向ケ出發セリ
打合ヲ爲シ後段事項視察ノ爲滋賀縣へ出張セリ

一、保見内務技師内閣總理大臣以下各大臣宿泊所ノ飲料水便所其他検査實施狀況視察シタリ

一、松尾内務技師ハ松ヶ崎浄水場導水路、蹴上墜道迄ト清水通飲食器其他等ヲ視察セリ

一、加藤防疫官午後四時ヨリ警察部廳舎内ニ於テ開催ノ大禮衛生關係事務ノ打合ニ列席セリ

十月二十五日 水曜 曇後晴

一、松尾内務技師、保見内務技師ハ東京ニ向ケ出發セリ

一、加藤防疫官午後松ヶ崎市營水道貯水場、北白川蔬菜洗場及府立農事試驗場御料蔬菜並御料鶏ヲ視察セリ

一、喜島内務技師 滋賀縣出張ノ處午後歸廳ノ上御料内關係ニ就キ京都府當該技術者、市吏員(屠場管理者)及右納入者ト本件施設ノ促進方其ノ他一般ノ打合ヲセリ

十月二十六日 金曜 曇後晴

一、加藤防疫官今朝滋賀、兵庫、大阪及奈良ノ府縣へ出張セリ

一、喜島内務技師ハ皇族、大饗用乳肉ノ取締方ニ付京都府當該技術者ト打合ヲ爲シ後之レニ關係スル營業所ヲ視察セリ

十月二十七日 土曜 晴

一、喜島内務技師 搾乳場、賣肉店舖視察シ午後五時京都發歸京セリ

十月二十八日 日曜 晴

一、加藤防疫官滋賀、兵庫、大阪及奈良ノ府縣へ出張中ノ處午後二時半歸廳ス(復命ノ一部別項ニ在リ)

十月二十九日 月曜 曇少雨

一、特記スヘキ事項ナシ

十月三十日 火曜 晴

一、小島内務屬、笠間内務屬今朝着京シ午後京都市水道當局ト打合セノ上蹴上浄水々源地ヲ視察セリ(復命別項ニアリ)

一、加藤防疫官ハ御料品ノ栽培場タル府下綴喜郡田邊町府立山城園藝場並同久世郡宇治川農園ヲ視察セリ

十月三十一日 水曜 晴

一、南澤内務屬今朝着京セリ

一、小島内務屬、笠間内務屬ハ松ヶ崎浄水場ヲ視察セリ

一、加藤防疫官ハ御料品ノ栽培場タル府下宇治郡宇治村陵南園並紀伊郡堀内村森本彦三郎ヲ視察セリ

一、小島、笠間兩内務屬ハ滋賀縣ニ向ケ出發セリ

十一月一日 木曜 晴

一、石田給仕本日ヨリ出勤ス

一、栗山囑託今朝着京

一、午後五時四十二分衛生局長、奥村内務屬着京

十一月二日 金曜 曇後雨

一、局長、加藤防疫官、奥村屬京都上水道取入口視察ノ爲メ午後一時滋賀縣へ出張同日歸着

一、小島雇午前八時十五分佐々木屬午後共ニ歸京

十一月三日 土曜 (明治節) 晴

一、午後二時二十五分(京都着) 勝俣防疫官來廳

- 一、奥村屬、南澤屬、栗山囃託市内衛生状態視察ス
- 一、氏原技師來京

十月四日 日曜 晴

- 一、傳染病豫防事務指導ノ爲勝俣防疫官滋賀縣出張即日歸京
- 一、加藤防疫官御料品栽培場視察ノ爲南桑田郡篠村及乙訓郡新神足村へ出張即日歸廳尙同時ニ御料鹹水魚取扱所ヲ視察ス
- 一、氏原技師滋賀縣ニ於ケル衛生施設狀況視察ノ爲出張即日歸廳
- 一、龜山事務官、諸富技手午後二時四十三分來京
- 一、岡田兵庫縣衛生課長ベスト、コレヲ豫防事務打合せノ爲來廳

十月五日 月曜 晴

- 一、龜山事務官市内救護班狀況視察 (復命別項ニアリ)
- 一、諸富技手市内衛生状態視察ノ上^{歸京ノ途ニ就ク}
- 一、氏原技師大阪へ (復命別項ニアリ)
- 一、野邊地防疫官本日午後七時四十三分來着

- 一、勝俣防疫官傳染病豫防事務指導爲メ滋賀縣出張同日歸廳
 - 一、加藤防疫官府管内ニ於ケル御料淡水魚調進所及御料雞卵、雞調進所料理場ヲ視察ス
- 十一月六日 火曜 晴後雨

- 一、龜山事務官齒科醫師大會列席
- 一、藤村港務官來訪
- 一、山田、赤羽、吉武屬來京市内塵芥燒却場視察 (復命別項ニアリ)
- 一、加藤防疫官、京都市中央市場及御料屠場視察

- 一、南崎防疫官午後十一時三十分來京

- 一、勝俣防疫官滋賀縣出張即日歸廳 (復命別項ニアリ)

十一月七日 水曜 曇時々雨

- 一、午後貳時、天皇、皇后兩陛下御着登
- 一、加藤防疫官三重縣出張
- 一、内野防疫課長來洛

十一月八日 木曜 雨

- 一、山田、赤羽、吉武屬名古屋へ向ケ出發
- 一、南崎技師市内ニ於ケル奉迎後ノ糞尿處置狀況視察 (復命別項ニアリ)
- 一、加藤防疫官本日歸廳

十一月九日 金曜 曇後晴

- 一、龜山事務官、野邊地、南崎防疫官市内衛生状態視察
- 一、傳染病豫防事務指導監督ノ爲メ勝俣防疫官滋賀縣出張即日歸廳

十一月十日 土曜 晴

- 一、南崎防疫官、龜山事務官本日歸京ノ途ニツク
- 一、野邊地防疫官衛生状態視察ノ爲メ京都市内出張
- 一、加藤防疫官本日歸京ノ途ニツク
- 一、午後三時京府廳内務省政務次官室ニ於テ内野防疫課長司會者トナリ萬歲三唱。
- 一、勝俣防疫官傳染病豫防事務打合せノ爲宮内省へ

十一月十一日 日曜 晴

一、衛生局長神樂ノ儀參列

一、野邊地防疫官歸京ノ途ニツク

一、勝俣防疫官傳染病豫防ノ事務打合セノ爲宮内省へ出頭

十一月十二日 月曜 晴

一、内野防疫官、勝俣防疫官、奥村屬市内衛生状態視察ス。

一、勝俣防疫官事務打合セノ爲宮内省へ

十一月十三日 火曜 曇後雨

一、勝俣防疫官宮廷列車乗組員給與辨當調製所衛生状態視察ノ爲上京區姉小路東洞院西入一六中村三四郎方へ出張ス

一、勝俣防疫官傳染病豫防事務打合ノ爲宮内省へ

十一月十四日 水曜 曇後雨

一、勝俣防疫官 傳染病豫防ノ事務打合ノ爲宮内省へ

一、衛生局長大嘗祭參列

一、國澤大阪府衛生課長來局

十一月十五日 木曜 曇後雨

一、勝俣防疫官傳染病豫防事務打合ノ爲宮内省へ

一、午後三時ヨリ正廳事務次官室ニ於テ局長會議開催

一、河合奈良縣衛生課長來局

十一月十六日 金曜 曇

一、山田衛生局長、大饗第一日ノ儀へ參列

一、勝俣防疫官、奥村、南澤屬平宮神宮ニ於ケル京都府地方賜饌へ參列

十一月十七日 土曜 晴、時々曇

一、山田衛生局長ハ奥村屬ヲ隨ヒ宇治山田市ニ於ケル衛生状態視察ノ爲三重縣へ出張即日歸京

一、岡本屬來京

一、渡邊同愛記念病院主事來京

一、局長夜宴參列

十一月十八日 日曜 曇時々雨

一、陸囑託來京

一、局長、陸囑託濟生會病院定礎式參列

一、内野防疫課長三重縣出張

一、局長午後二時半ヨリ内務大臣招待ノ地方長官招待會列席

一、市ノ園遊會ニ局長出席

十一月十九日 月曜 曇時々雨

一、陸囑託本日歸京

一、岡本屬本日歸京ノ途ニツク

一、渡邊同愛記念病院主事歸京ノ途ニツク

一、飯村防疫官出張中ノ三重縣ヨリ本日來京 (復命別項ニアリ)

十一月廿日 火曜 晴

一、衛生局長修學院拜觀

十一月二十一日 水曜 晴

一、衛生局長、勝俣防疫官、奥村屬桃山御陵附近ニ於ケル衛生状態視察ノ爲出張即日歸廳

- 一、勝俣、飯村防疫官、奥村、南澤屬、栗山囑託府園遊會出席
十一月二十二日 木曜 晴
- 一、衛生局長、奥村屬、畝傍御陵附近ノ衛生狀態視察ノ爲メ奈良縣出張
- 一、内野防疫課長、三重縣出張中ノ處午後八時十七分歸京（復命別項ニアリ）
- 一、傳染病豫防事務打合ノ爲勝俣防疫官、南澤屬滋賀縣出張即日歸廳
十一月二十日 金曜 晴
- 一、衛生局長、奥村屬、奈良縣出張中ノ處本日歸廳
十一月二十四日 土曜 晴
- 一、岡山縣出張ノ途次四谷屬來京ス同日岡山縣へ向ケ出發
- 一、内野防疫課長愛知縣へ出發（復命別項ニアリ）
十一月二十五日 日曜 晴
- 一、飯村防疫官歸京ノ途ニツク
十一月二十六日
- 一、出張所閉鎖
- 一、午後八時二十四分、山田衛生局長以下勝俣防疫官、奥村屬、南澤屬、栗山囑託歸京ノ途ニツク

九 殘 務

殘務トシテ特記スヘキ事項ナキモ大禮關係府縣中行幸關係地ニ於テ特ニ衛生上ノ施設ニ關シ盡力シタル團體ニ對シ左記ノ通り
昭和四年一月三十一日付ヲ以テ内務大臣ヨリ感謝狀ヲ交附セリ
大禮衛生施設事項ニ付協力シタル團體ニ對シ感謝狀交附ノ件

團 體 名

大禮ニ際シ衛生施設事項ニ付特ニ協力シタル醫師會、衛生組合等ノ團體ハ別紙ノ通ニ有之候處右ニ對シ左案ヲ以テ感謝狀交附致度仰高裁

御大禮ニ際シ協心戮力克ク衛生ノ事ニ盡瘁勞效尠カラズ依テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

昭和四年一月三十一日

内務大臣從三位勳二等 望 月 圭 介

内務省發衛第一二八號

昭和四年二月七日

内務省衛生局長

京都、三重、奈良、愛知
以上各地方長官宛

大禮ニ際シ衛生事務ニ關シ功勞顯著ナル民間團體ニ對シ感謝狀送付ノ件

今回別紙ノ通大禮ニ際シ衛生事務ニ關シ功勞顯著ナル團體ニ對シ當省大臣ヨリ感謝狀送付相成候ニ付テハ之カ傳達方可然御配慮相煩度（別紙）

大禮衛生施設事項ニ付特ニ協力シタル團體

一、京都府

- 京都市衛生組合聯合會
- 上京區衛生組合聯合會
- 下京區衛生組合聯合會
- 京 都 府 醫 師 會

一、三重縣

京都市醫師會
紀伊郡醫師會
京都府藥劑師會
京都府工場衛生會

一、愛知縣

三重縣醫師會
三重縣藥劑師會
日本赤十字社三重支部

一、奈良縣

名古屋市醫師會
名古屋市看護婦會
奈良縣齒科醫師會
奈良縣藥劑師會

奈良市醫師會
生駒郡醫師會
添上郡醫師會
山邊郡醫師會
磯城郡醫師會
高市郡醫師會
北葛城郡醫師會
南葛城郡醫師會

尙右團體ハ左記照會ニ基キ地方長官ヨリ上申シタル者ヲ選定シタルモノナリ

内務省發衛第一二八號(電報照會)

昭和三年十二月二十二日

京都、奈良、三重、愛知

以上各地方長官宛

警視總監宛

内務省衛生局長

大禮衛生施設事項ニ付特ニ協力シタル醫師會衛生組合等ニシテ内務大臣ヨリ感謝狀交付ノ必要アル團體アラバ至急上申セラレ
タシ

次ギニ本御大禮衛生記録中海港檢疫及重要海港地ノ防疫施設ニ關シテハ飯村、加藤、勝俣各防疫官之ヲ執筆シ、其ノ他ノ記
録ハ久住、奥村兩内務屬專ラ之カ編纂ニ當レリ

一〇 廳府縣ニ於ケル大禮衛生施設概要

(1) 警 視 廳

一、精神病ニ關スル事項

(一)精神病院ニ關スル事項

精神病院ノ管理及病者監護ニ關シ一層取締規則ヲ嚴守シ職員ヲ督勵シテ過誤ナキヲ期スルヤウ昭和三年十月四日附ヲ以テ各私
立精神病院設置者及院長宛(東京府立松澤病院ニ對シテハ東京府學務部長宛)ニ通牒ヲ發シ勵行セシムルト共ニ精神病院ノ視
察取締ニ關シテハ各所轄警察署長ニ對シ指示通牒ヲ發シ之カ勵行方ヲ督勵スル處アルト雖モ尙取締ノ萬全ヲ期スル爲衛生部係
員ヲシテ各精神病院ニ對シ十月二十四日以降十一月末大禮儀修了迄ノ間ニ各二回以上直接之カ臨檢視察ヲ勵行セシムル事トシ

病院内ノ警戒及病者ニ對スル監護上其ノ他不都合ト認ムル點ハ病院當事者ニ對シ注意或ハ指示ヲ與ヘテ之ヲ改善セシメ一面所轄警察署ト常ニ連絡ヲ保チ緩急機宜ノ措置ヲ講シ以テ遺算ナキヲ期シタリ、斯クシテ十一月六日 天皇 皇后兩陛下京都行幸啓迄ノ間ニ各一回其ノ後大禮儀終了迄ノ間ニ各一回ノ臨檢視察ヲ完了シタリ

右ノ如ク各精神病院ノ視察取締ハ嚴重之ヲ實施シ特記スヘキ事故ナカリシハ好成績ト謂フヘク尙各精神病院ニ於ケル本年一月以降十一月迄ノ精神病者入院者ハ二千六百八十四名(代用(三等)委託費 六四九)ニシテ退院者ハ二千四百六名(代用(三等)委託費 二八八)ナリ

(二)精神病者ニ關スル事項

管内ニ於ケル私宅監置精神病者ハ三十五名(内島嶼十一名)ヲ算シ之等ハ概シテ公安上危險ノ虞アル者ナルノミナラス從來之カ監護ノ不注意等ヨリシテ脱走スルニ至ラシメ以テ諸種ノ事故ヲ惹起シタルノ事例少カラサルニ鑑ミ豫テ各警察署ヲ督勵シ監護上常ニ遺憾ナキヲ期シツ、アリト雖モ尙取締上ノ萬全ヲ期スル爲當部係員ヲシテ十月二十四日以降十一月末大禮儀終了迄ノ間ニ該病者ニ對シ各二回以上直接臨檢視察ヲ爲サシムル事トシ各監護義務者ニ對シ逃走自殺ノ防止方法並其ノ監視及監置室ノ清掃等ニ關シ注意ヲ加ヘシムル等視察取締ノ徹底ヲ期シタル結果幸ニ何等ノ事故ヲ惹起セザリキ

二、結核及「トラホーム」ニ關スル事項

(一)結核檢診ニ關スル件

結核豫防關係法令ニ基ク接客營業者及其ノ從業者ニ對スル檢診ハ豫テ各警察署ニ於テ勵行中ナルモ本秋ハ御即位大禮ヲ行ハセラルルヲ以テ特ニ各警察署ヲ督勵シ之カ檢診ヲ勵行セシメ檢診ノ結果發見シタル結核患者ハ結核豫防關係法令ニ依リ夫々之ヲ措置シタリ

本年一月以降十一月迄ニ於ケル結核檢診成績ヲ示セハ左表ノ如シ

昭和三年自一月至十一月接客營業者結核檢診成績表

種別	性別		檢診人員	罹患者	罹患者年令別					罹患者身分關係							
	男	女			計	自10年至20年	自21年至30年	自31年至40年	自41年至50年	51年以上	計	合計	合計				
計	一五六、六二〇	一五七、四一八	四六	八九	三三	三三	三〇	六六	五八	二七	二二〇	九八	三〇	七四	二〇二		
男	六九、二六五	八七、三五五	二〇	四三	一一	一一	一〇	三三	二二	一一	一四	五一	一一	二九	九一		
女	八七、三五五	八七、二四四	二六	四六	二二	二二	二〇	三三	一六	一六	一四	四七	一九	四五	一一		
別	人	員	者	數	核結肺	核結頭喉	潤浸尖肺	炎膜肋	其他	計	合計	主業營	族	家	人	計	合計

(二)「トラホーム」檢診ニ關スル件

「トラホーム」豫防關係法令ニ基ク接客營業者及其ノ從業者ニ對スル檢診モ結核檢診ト同様特ニ各警察署ヲ督勵シ之カ檢診ヲ勵行モシメ又下谷區入谷町外十四ヶ町ニハ直接當部衛生技術員ヲ派遣シ一般町民ノ「トラホーム」檢診ヲ施行シ發見シタル患者ハ東京市ノ「トラホーム」治療所ヲシテ之カ治療ヲ促シタル外罹病率高キ北豐島郡西巢鴨町及日暮里町ニハ特ニ衛生技術員及係員ヲ派遣シ町民ノ檢診並患者ノ治療ニ盡ス等本病豫防撲滅ニ努メ其ノ效果見ルヘキモノアリタリ本年一月以降十一月迄ニ於ケル檢診成績ヲ示セハ左ノ如シ

左記

「トラホーム」檢診成績(自昭和三年一月至昭和三年十一月)

種別	性別		檢診人員	罹患者	罹患者年令別		百分比	疑似症	百分比
	男	女			計	百分比			
接客營業者	計	六九、二六五	一五六、六二〇	二七八	三、〇八一	四、四五	五二〇	〇・七九	
	男	八七、三五五	二九八	三、三一五	四、一四	五二三	〇・五九		
	女	一五六、六二〇	五七六	六、六九四	四、二七	一、〇四三	〇・六六		
一般町民	計	六、三九九	一四、五三〇	四六	四八二	五二八	七三	一・一四	
	男	八、一三一	一三〇	八四	七八六	八七〇	一〇・六九	一・二四	
	女	一四、五三〇	一三〇	一、二六八	一、三九八	九・六二	一七四	一・一九	

合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
七五、六六四	三五、二八五	四〇、一〇一	三、二八五	三、六〇九	四、七五	五九三	〇七八	〇六五
九五、四八六	四、一〇一	四、四八三	四、一〇一	四、四八三	四、六九	六二四	〇六五	〇六五
一七一、一五〇	七〇六	七、三八六	七、三八六	八、〇九二	四、七二	一、二一七	〇七一	〇七一

(二)結核及「トラホーム」豫防設備取締ノ件

結核及「トラホーム」各豫防法令上所謂多衆ノ集合スヘキ場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於ケル衛生上ノ諸般施設ニ關シテハ平素夫々所轄警察署ニ於テ取締勵行中ノ事ト信セラルルモ尙取締上種々徹底ヲ缺ク嫌アルヲ遺憾トス殊ニ大禮ノ期日モ切迫シ旁々地方ヨリノ上京者モ多カル可ク豫防衛生上特ニ之カ取締上萬遺憾ナキヲ期スル爲各警察署長ニ對シ九月六日附通牒ヲ發シ同月二十日ヲ以テ此等ノ場所ニ對スル一齊取締ヲ勵行シタルニ其ノ成績左ノ如シ

一齊取締戸數	違反ナキモノ	種別					
		唾涎ニ關シ	被覆ニ關シ	手拭ニ關シ	手洗水ニ關シ	洗面器ニ關シ	
七〇、四九二	五六、八三一	八、九五五	一、一〇七	一、九五九	二、二二二	五七五	一四、七一七
計	計	計	計	計	計	計	計

三、花柳病豫防ニ關スル事項

(一)花柳病豫防法施行ニ關スル件

昭和二年四月法律第四八號花柳病豫防法ハ昭和三年勅令第百二十號ヲ以テ同年九月一日ヨリ其ノ一部ヲ實施セラルルコトト相成既ニ關係勅令及内務省令公布セラレ時恰モ大禮前ニ係ハルヲ以テ本法執行上特ニ過誤ナキヲ期スルト共ニ一面花柳病豫防取締上遺憾ナキヲ期スル爲各警察署長並ニ各警視廳病院長ニ對シ通牒ヲ發シ各警察署ヲ督勵シ又當部衛生技術員ヲシテ花柳病毒傳播ノ虞アル接客業者其ノ他ニ對シ花柳病豫防講演會ヲ開催スルコト前後五十回ニ及ヒ其ノ他本病豫防ニ關スル注意書ノ頒布ホスターノ配布等ノ方法ニ依リ本病豫防撲滅ニ努メタリ

(二)集團地域内密賣淫婦健康診断ニ關スル件

行政執行法第三條第一項ノ規定ニ依ル健康診断ハ從來單ニ密賣淫犯者トシテ檢舉セラレ言渡確定シタル者ニ對シ之ヲ行ヒ其ノ他ノ者ノ健康診断ハ殆ント之ヲ行ハサルノ實情ニ有之斯ノ如キハ花柳病傳播豫防上遺憾トスル處ニシテ殊ニ花柳病豫防法モ其ノ一部ヲ除ク外昭和三年九月一日ヨリ施行セラルルニ付テハ從前ノ健康診断ノ成績ニ徴シ花柳病ノ罹病率最モ高キ龜戶、寺島兩警察署管内ニ集團セル密賣淫婦ノ健康診断ヲ勵行スルコトハ花柳病豫防取締上緊要事ト認メ右兩警察署長ニ對シ各通牒ヲ發シテ健康診断ヲ勵行セシメ其ノ結果有病者ト決定シタルトキハ傳染ノ危険甚シト認メタル者ハ從前ノ例ニ依リ之ヲ指定ノ警視廳病院ニ送致シ其ノ他ノ者ハ治療ニ至ル迄當該業態者ノ組合ニ於テ設クル診療機關其ノ他適當ト認ムル醫師ノ治療ヲ受ケシメ本病ノ豫防取締上遺憾ナキヲ期セシメタリ而シテ本件施行ニ關シテハ豫算關係上健康診断ニ從事スヘキ衛生技術員ハ當分ノ内吉原、洲崎兩警視廳病院ヨリ各一名宛之ヲ派遣スルコト爲シ龜戶警察署管内ノ分ニ對シテハ十月二十六日ヨリ寺島警察署管内ノ分ニ對シテハ十一月一日ヨリ何レモ之ヲ實施シタルニ十一月末日迄ニ兩警察署管内ニ集團セル密賣淫婦ニ對スル健康診断成績ヲ示セハ左ノ如シ

左記

集團地域内密賣淫婦健康診断成績

署名	檢診人員	同上下ノ内		病類					百分率	檢診回数
		無毒者	有毒者	梅毒	淋病	軟性下疳	刺	脫其ノ他		
龜戶	一、三六五	一、〇五三	三二二	一三	一六八	九七	三一	三	二二・八六	一三
寺島	一、一五八	八七六	二八二	五	八五	一七七	一四	一	二四・三五	一一

四、癩患者ニ關スル事項

浮浪癩患者ノ取締及救護收容ニ關シテハ各警察署長ヲ督勵シ全生病院ト連絡ヲ採リテ之ニ當リタル結果昭和三年一月以降十一月迄ニ救護收容シタルモノハ左ノ如シ

救護 數 全生病院ニ送致シタル數 救護中逃走シタルモノ 救護中死亡シタルモノ 前年ノ繰越數
 百十三名 六十四名 四十六名 七名 四名

次キニ私宅療養中ノ癩患者ハ現在七十四名ヲ算シ其ノ多クハ東京市内ニ散在セルヲ以テ所轄警察署ヲ督勵シ其ノ扶養義務者ヲ諭示シ取締ヲ講シタルニ幸ニ何等事故ヲ生セスシテ終レリ

五、救護ニ關スル件

(一) 救護所位置ノ選定

京都市幸啓還幸啓其ノ他各行幸啓御道筋及警衛計畫ノ決定ニ從ヒ十月十八日ヨリ數日ニ亘リ救護所設置ニ適當ナル場所ヲ實地踏査シ左記場所ノ選定ヲ了ス

京都市幸啓並還幸啓	二十三箇所
多摩 陵 行 幸 啓	二十四箇所
大禮 觀 兵 式 行 幸	二十三箇所
大禮 觀 艦 式 行 幸	十一箇所
東京市祝賀會行幸啓	六十箇所

(二) 救護班編成及班員執務心得

救護員ハ醫務課勤務ノ技術員及其ノ他ノ係員ノミニテハ到底之ヲ充タス能ハサルノミナラス加フルニ警衛中隊附救護班ヲ派遣セサルヘカラサルヲ以テ吉原、洲崎、新宿、品川、板橋ノ各娼妓病院勤務ノ常直者ヲ除キタル醫員及中隊ノ編成ナキ警察署勤務若クハ配置ノ衛生技師、衛生技手(警察醫)防疫醫ノ應援ヲ求メ亦看護婦ハ前記病院及臨時雇上ケヲ爲シ助手ハ醫師以外ノ職員及娼妓病院事務員ヲ充テ以テ救護班ヲ編成セリ尙救護ノ統一、連絡ヲ期セムカ爲ニハ特ニ詳細ナル救護員執務心得ヲ制定シテ執務員ノ行動ヲ明瞭ナラシメ同時ニ關係全員ヲ召集シテ之カ打合セヲ爲シ其ノ趣旨ノ周知徹底ヲ圖ルニ努メ茲ニ救護準備ノ完了ヲ告ケタリ

(三) 諸種團體ノ救護所設置

(イ) 京都市幸啓並還幸啓當日ニ於ケル救護所開設ニ關シ東京府、東京市、赤十字社東京支部其ノ他ニ對シ通報シタルニ何レ

モ場所ノ指定方依頼アリ東京市ハ三ヶ所東京府、赤十字社支部各二ヶ所其ノ他ハ二ヶ所設置ニ決定セリ

(ロ) 陸軍省醫務局衛生課長ヨリ大禮觀兵式場ニ於ケル救護所設置ニ關シ通牒ヲ受ケ陸軍省設置ノ救護所依置ヲ參酌シ當廳ニ於テ設置スル位置三ヶ所ヲ決定ノ上回報ヲ發ス

(ハ) 東京市祝賀會當日ハ特ニ多數ノ救護所設置ノ要アルヘキヲ想ヒ東京府、東京市、赤十字社東京支部ノ外御道筋ノ麴町、芝、京橋、日本橋、神田、下谷各區醫師會長ニ對シ書面ヲ以テ救護所設置ニ關シ豫メ協定方照會ヲ發シ場所ノ按配處務ノ統一等遺漏ナキヲ期シタリ

(四) 重症者收容所

各救護所ノ設備ハ一時的應急處置ヲ標準トスルモノナルヲ以テ萬一重症者發生ノ場合ヲ慮リ各救護所近接ノ左記私立病院長ニ對シ書面ヲ以テ重症者收容方依頼シ救護上遺憾ナキヲ期シタリ

京都市還幸啓及大禮觀艦式當日(十一月六日、廿七日、十二月四日)

麴町區	深 瀬 病 院
同	胃 腸 病 院
神田區	杉 本 胃 腸 病 院
日本橋區	吉 川 病 院
京橋區	林 病 院
同	池 田 病 院
芝 區	岩 島 病 院
同	財團濟生會病院

多摩陵及大禮觀兵式行幸當日(十一月廿九日、十二月二日)

四谷區	慶應大學病院
-----	--------

東京奉祝會行幸啓當日(十二月十三日)

赤坂區	土屋病院
同	順天堂病院分院
同	前田病院
同	野崎病院
芝區	東京慈惠會醫院
同	岩島病院
同	恩賜濟生會病院
京橋區	林川病院
日本橋區	吉川病院
同	中原病院
神田區	泉橋病院
同	駿河臺病院
同	日本大學附屬病院
神田區	鈴木木病院
本郷區	順天堂醫院
下谷區	松永病院
同	濱野病院
同	田代病院

(五)中隊附救護班

救護所設置數ニハ限リアルヲ以テ一般的救護ヲ兼ネ中隊員救護ノ目的ヲ以テ警衛警戒ニ従事スル各中隊附救護班ヲ隨伴出動セ

シムルコトトシ中隊長タル各警察署長ニ對シ其ノ署勤務ノ衛生技師、衛生技手(警察醫)及防疫醫助手トシテ同シク防疫監吏、防疫履ノ帶同方通牒ヲ發シ應急處置ニ必要ナル藥品及衛生材料ヲ格納セル携帶用鞆ヲ臨時交付セリ

中隊附救護班編成

日 時	行幸啓別	救護班ヲ附シタル中隊數	從事員	備考
十一月六日	京都市行幸啓	四二	醫員 四二 助手 四二	鐵道沿線及九個中隊及本廳内ニ本部ヲ置ク三個中隊ヲ除ク
同 廿七日	東京還幸啓	四二	醫員 四二 助手 四二	
同 廿九日	多摩陵親謁	七五	七五	
十二月二日	大禮觀兵式	六三	六三	
同 四日	大禮觀艦式	二九	二九	
同 十三日	東京市祝賀會	六四	六四	

(六)市民奉祝行列其ノ他ニ對スル救護

十一月九日、十日、十一日、十三日、十五日、十七日ノ六日間各團體ノ提燈行列並各町村ノ神輿宮城外苑ニ巡行、十一月三十日大禮觀兵式豫行、十二月三日全國在郷軍人御親謁、十二月十五日大禮奉祝諸團體御親謁等夫々適當ノ場所ニ臨時救護所ヲ開設シ常ニ救護上迄末ノ遺算ナキヲ期シタリ則チ此ノ種救護ノ爲メニ臨時救護所ヲ設置スル二十ヶ所従事職員七十八人使用シタル人夫二十八ナリトス

(七)警視廳以外ニテモ別表ノ通り救護ヲ出セリ

警視廳救護班

月 日	行幸啓	救護班數	從事員	件數	重傷者	中症者	輕症者	計	重病者	中症者	輕症者	計
十一月六日	京都市行幸啓	一四(外二班)	三三	三五	一	一	一一	一一	三	二〇	二四	二四

月 日	行 事	救護班數	件救護	傷 者 内		病 者 内		計
				重 症	中 症	重 症	中 症	
同 二十七日	東京遊幸啓	一四〇	三二	二二	一	一	一	二二
同 二十九日	多摩親親式	二〇〇	三一	二九	一	一	一	三一
十二月二日	大體觀兵式	一七〇	三一	二二	一	一	一	二二
同 四日	大體觀兵式	一一〇	三一	三五	一	一	一	二二
同 十三日	東京市祝賀會	二〇〇	三六	三三	一	一	一	三二
同 十三日	大體前夜會	二〇	七八	六一	一	一	一	三二
計		一〇七	二七〇	二〇五	一	一	一	二〇七

一三〇

警視廳以外ノ救護班

月 日	行 事	救護班數	件救護	傷 者 内		病 者 内		計
				重 症	中 症	重 症	中 症	
十一月六日	京都市祝賀會	一三	五二					五二
同 二十七日	東京遊幸啓	九	三〇					三〇
同 二十九日	多摩親親式	八	一三					一三
十二月二日	大體觀兵式	五	二九					二九
同 十三日	東京市祝賀會	三八	一〇一					一〇一
計		七三	二二五					二二五

警視廳以外ニ救護班ヲ出タセルモノ左ノ如シ

東京府、東京市、赤十字社東京支部、豊多摩郡醫師會、八王子市醫師會、財團濟生會、東京市衛生聯合會、麴町區醫師會、芝區醫師會、芝區私立衛生聯合會、京橋區醫師會、京橋一之部會、日本橋區醫師會、神田區醫師會、下谷區醫師會

中隊 附救護班

月 日	行 事	救護班ヲ附シタル中隊數	從事員	救護件數	内		計
					傷 者	病 者	
十一月六日	京都市祝賀會	四二	四八	一六〇	一五	一三二	五
計		二九五	六三〇	七八四	五七	六〇八	九八

一八

月 日	行 事	救護班數	從事員	救護件數	内		計
					傷 者	病 者	
同 二十七日	東京遊幸啓	四二	八四	一一八	三	八七	三
同 二十九日	多摩親親式	七五	一五〇	一七〇	八	一四八	六
十二月二日	大體觀兵式	六三	一二六	一三五	一	一〇三	一
同 四日	大體觀兵式	二九	五八	三〇	一	二七	二
同 十三日	東京市祝賀會	六四	一二八	一六一	一	一一二	一
計		二九五	六三〇	七八四	五七	六〇八	九八

救護員勤務心得

警視廳衛生部

- 一、救護員ハ開始時限三十分前ニ指定救護所ニ到着シ設備ノ點檢及準備ヲ整フルコト
- 二、救護所ノ標旗、標章、標燈ハ公衆ノ賭易キ場所ニ掲揚スルコト
- 三、救護員ハ手術衣ヲ着用シ且規定ノ腕章ヲ纏付スルコト
- 四、主任救護員ハ衛生部長ノ命ヲ承ケ所屬救護員ヲ指揮監督スルコト
- 五、特ニ主任者ヲ指定セサルトキハ醫員又ハ醫員中ノ高級者ヲ以テ主任トスルコト
- 六、服務中ハ濫リニ其ノ位置ヲ離レサルコト
- 七、被救護者ニ對シテハ丁寧懇切ヲ旨トスルコト
- 八、傷病者ハ主トシテ應急處置ヲ爲シ重症其ノ他特ニ必要アリト認メタルモノハ所定ノ送付書ヲ添へ別記收容病院ニ送致スル
 一、ト但シ收容所ノ豫定ナキ場合ハ最寄病院其ノ他適當ノ場所ニ收容スルコト
- 九、傷病者多數ニシテ救護力ニ不足ヲ生スル虞アリト認メタルトキハ速ニ救護本部ニ報告スルコト但シ其ノ邊ナキ場合ハ近接救護所ニ援助ヲ求ムルコト
- 一〇、救護ニ關シテ重要事件發生シタルトキハ成ル可ク速ニ救護本部ニ報告スルコト
- 一一、救護材料缺乏ノ虞アルトキハ救護本部ニ補給ヲ求ムルコト但シ急迫ノ場合ハ最寄商店ヨリ購入シ終了後品名、數量、價格及店名ヲ報告スルコト

一二、救護所ノ閉鎖ニ關シテハ左記ニ依ルコト
 所定時限前ニ設置ノ必要ナシト認メラルトキハ救護本部ニ報告シ指揮ヲ受クルコト(警戒部隊アル場合ハ協議ノ上)
 所定時限ニ至ルモ尙設置ノ必要アリト認メタルトキハ閉鎖時刻ヲ定メアル場合ト雖其ノ狀況ニ依リ繼續服務スルコト
 一三、救護所ヲ閉鎖シタルトキハ左記ニ依ルコト
 救護狀況報告書ヲ救護本部ニ提出スルコト但シ遠隔其ノ他已ムヲ得サル事由アルトキハ電話ヲ以テ概況ヲ報告スルコト
 醫療機械器具ハ清潔ニ拭淨シタル後格納整頓シ鎖鑰ヲ施シタル上主任者ニ於テ鍵ヲ保管スルコト

六、御大禮關係直後防疫措置

(一) 傳染病發生狀況通報

本年四月宮内次官、内務次官連署ヲ以テ傳染病發生狀況通報ニ關スル通牒アリタルニ依リ四月一日以降ニ於ケル法定傳染病患
 者ノ發生狀況ハ兩省ニ週報シ來レリ、越テ八月一日以降ハ前記法定傳染病並宮内傳染病豫防令ニ掲ケラル、前掲以外ノ流行性
 感冒、麻疹、流行性耳下腺炎、流行性腦炎ノ發生狀況ヲ共ニ週報セリ、前掲ノ報告ハ十月十五日以降日報トシ行幸主務官ニモ
 報告セルカ更ニ十月内務省ヨリノ通牒ニ基キ御昇降驛並行幸啓沿道三丁以内ノ地域ニ傳染病患者發生シタル場合ハ患者ノ發生
 場所病名及發生月日、患家ノ職業、患者ノ措置ヲ詳ニシ患者發生場所ノ見取圖ヲ添付シテ京都府廳内務省出張所ニモ報告シ
 來レリ

(二) 宮内省大膳寮並大禮使食料品納入者ニ對スル措置

賢所御供品、皇室御用ノ魚介、蔬菜ヲ始メ日常大膳寮ニ於テ使用セラル、食料品並大禮使使用ノ食料品ニ付キテハ常ニ嚴密ナ
 ル注意ヲ拂ヒ防疫上遺憾ナキヲ期シツ、アリ、此等納入品取扱營業者ハ其ノ總戸數百四十八戸従業員二千九百二十人ヲ算ス
 此種營業者ヲ防疫上ヨリ觀察シ此ノ關係ノ輕重ニ依リ大別シテ左ノ三種ニ區分シタリ

區分	納入者戸數	區分	理由
甲	五六戸		直ニ飲食ニ供スヘキ物品ヲ取扱フモノ
乙	二九		加熱後飲食ニ供スヘキ物品ヲ取扱フモノ
丙	六三		前二項ノ内取扱者カ物品ニ直接觸レサル物品ヲ取扱フモノ
計	一四八		

右ニ對シ特ニ觀察取締ニ當ラシムル爲防疫醫一名、防疫監吏五名ヲ專從セシメ常時督勵ヲ加ヘタリ而シテ納入従業員ニ對シテ
 ハ健康觀察並病原體保有者ノ檢索ヲ行ヒタルニ健康觀察延人員四萬一千七百五十六人中普通患者百七十三人ヲ發見シ又病原體
 保有者ノ檢索ハ之カ人員七千七百二十三人中二名ノ赤痢病原者ヲ發見セリ、腸「チフス」豫防注射ハ従業員ハ勿論家族同居者全
 部ニ對シ之ヲ行ヒ他而井戸ノ構造改善、便所ノ改良、塵芥容器ノ改良等夫々行ハシメ遺憾ナキヲ期スルト共ニ一面常時防疫上
 ノ思想普及ニ努メタリ

以上納入従業員中本年傳染病ニ罹患セル者腸「チフス」一名、赤痢一名、水痘一名、肺結核二名アリ、而シテ之等患者又ハ保菌
 者ヲ發見シタルトキハ直ニ患者ヲ入院セシメ消毒ヲ勵行スルノ外皇宮警察部ニ通報シテ、宮城内ニ於ケル豫防措置ノ實行ニ遺
 憾ナキヲ期シタリ

(三) 大膳寮使用人ニ對スル措置

御大禮ニ際シ大膳寮ニ臨時採用セラレタル料理人、配膳人、造花業者等其ノ數三百十三人アリ此等業者ハ御用命ノ都度大膳寮
 ヲリ氏名ノ通報ヲ受ケタルニ依リ直ニ防疫醫ヲシテ健康診斷ヲ行ヒ且ツ二回以上檢便ヲ爲シタル後奉仕スル様取計ヒタリ而シ
 テ健康診斷ノ結果肺結核一名、トラホーム患者二名ヲ發見セリ

(四) 即位禮及大嘗祭後大饗宴奉仕者ニ對スル措置

即位禮及大嘗祭後大饗宴ニ奉仕スル料理人、給仕人並原料製造業者百三十七人ニ對シ大禮使ヨリノ依頼ニ基キ夫々防疫醫ヲシ
 テ嚴重ナル健康診斷ヲ行ハシメ又再度檢便ヲ行ヒタリ而シテ其ノ結果トラホーム患者三名ヲ發見セリ

(五) 貴賓列車食堂従業員ニ對スル措置

御大禮ニ參列セラル、締盟各國派遣ノ大使公使乗用貴賓列車内ノ食堂ニ勤務スル料理人ハ勿論、御大禮ノ用務ニ依リ、又ハ御

大禮參列ノ爲京都ニ往復セラル、方々ノ乗用セラル、列車内食堂ノ料理人、給仕人總計二百九十五名ニ對シテモ特ニ嚴重ナル健康診斷ヲ施行シ且檢便ヲ了シタリ

(六) 大禮使職員ニ對スル警戒

九月宮内省ヨリ大禮使職員ノ住所ヲ通報セラレタルニ依リ各警察署配置ノ防疫職員ニ指示シ住宅周圍ノ衛生狀況ニ注意セシメ出入商人ノ健康狀態ヲ監視シ必要ニ應シテハ檢便ヲ行ヒ以テ大禮使要職ニ在ル職員ノ保護警戒ニ努メタリ

(七) 地方饗儀關係防疫措置

内務省ニ於テ行ハレタル地方饗儀料理數約一千、東京府ニ於ケル地方饗儀料理數一萬三千五百ヲ始メトシテ、各省、他府縣地方饗儀關係ノ料理店ニ對シテハ各調理場ニ對シ數回防疫職員ヲ派シ調理場ノ清掃及殘渣物ノ處置並驅蠅等ヲ嚴重行ハシムルト共ニ従業員ハ總テ「腸チフス」豫防注射済ノ者ヲ選定シ嚴密ナル健康診斷ヲ行ヒ且檢便ノ上「檢便済證」ヲ交付シテ從業セシメタリ、又以上各種ノ防疫措置ヲ講スルト共ニ調理當日ハ各調理場ニ防疫職員ヲ特派シ徹宵嚴重監視セシメタル結果幸ヒ何等ノ事故モ生セザリキ

(八) 大禮工營工事從業者及他府縣ニ於ケル御用品納入者ノ在京者ニ對スル措置

紫宸殿御造營工事ニ從事スル者ニ對シテハ京都ヘ出向、種痘並「チフス」豫防注射ヲ施行シ又健康診斷及檢便ヲ行ヒタリ、京都府ヨリ饗宴用料理調理進者及料理材料供給者ニ對スル健康診斷並檢便方ノ依頼アリ又三重縣ヨリ献上品製作者等ニ對シ健康診斷並檢便方ノ依頼アリタルヲ以テ夫々嚴重施行シタル結果献上品納入關係業者ニ「トラホーム」患者一名ヲ發見シ其ノ旨三重縣ヘ通報セリ

(九) 京都府外三縣派遣警察官ニ對スル防疫措置

警視廳在勤警察官ニシテ京都府及奈良、三重、愛知ノ三縣ニ派遣セラル、者ニ對シテハ健康診斷及檢便ヲ行ヒ豫防注射ヲ施行シ種痘ヲ爲シタル後派遣セシメタリ

(十) 宮城參入停止者等ニ對スル措置

宮内傳染病豫防令ニ依リ宮城參入停止關係ニ就キ皇宮警察部ヨリ通報ニ接シタル者七十九件アリタルヲ以テ夫々其ノ病類ニ依リ忠家ノ家族、附近居住者ノ健康診斷、檢便ヲ行ヒ其ノ他蠅ノ驅除、井水ノ消毒、下水ノ浚渫等ヲ嚴行セシメ尙豫防注射ヲ行ハシメタリ、又行幸啓奉送迎資格者ニシテ宮内傳染病豫防令ニ依リ奉送迎ヲ遠慮セシムル要アル者ニ對シテハ所轄警察署長ヨリ諭示セシメ一面皇宮警察部ニ通報シ遺漏ナキヲ期シタリ

七、行幸啓御進筋ニ關スル警戒

(一) 京都行幸啓還幸啓時ニ於ケル防疫措置

京都行幸啓及還幸啓時ニ際シテハ防疫措置ニ遺憾ナキヲ期スル爲防疫課内ニ防疫班本部ヲ置キ尙防疫班四班ヲ編成シ行幸沿道適當ノ場所ニ配置シ傳染病患者發生時ノ措置ニ遺憾ラナカシメタリ、防疫班ノ執務事項左ノ如シ

(イ) 行幸沿道地區ニ傳染病患者發生アリタル場合ノ措置

行幸沿道三丁以内ニ法定傳染病並流行性感冒、麻疹、流行性耳下腺炎、流行性腦炎ノ患者發生アリタルトキハ所轄警察署ト協議シ豫防措置ヲ講シ病毒ノ散逸防止ニ努ムルコト

(ロ) 拜觀者中ニ傳染病患者アリタル場合ノ措置

函籍拜觀者中ニ傳染病患者若ハ其ノ歎アル者ヲ發見シタルトキハ嚴重消毒方法ヲ行ヒ患者若ハ其ノ疑アル者ヲ隔離スルコト

(ハ) 病原體保有者ニ對スル措置

病原體保有者ニ對シテハ所轄警察署ト連絡ヲ保持シ其ノ行動ヲ監視シ病毒ノ散逸ヲ防止スルコト

(ニ) 宮内關係物件納入者ニ對スル措置

宮内關係物件納入者及從業者カ法定傳染病並宮内傳染病豫防令ニ掲グル傳染病ニ罹リタルトキハ所轄警察署ト協議シ消毒方法ヲ行ヒ關係方面ト連絡ヲ採リ病毒ノ散逸ヲ防止スルコト

(二) 山陵御親謁關係防疫措置

十一月二十九日山陵御親謁ノ儀ヲ行ハセラル、ヲ以テ御舉行三週間前タル十一月九日ヨリ淺川町ニ防疫課出張所ヲ設ケ防疫

醫、防疫監吏ヲ派遣シ諸般ノ事務ニ當ラシメ特ニ左ノ事項ハ之カ徹底ヲ期シタリ

(イ) 檢病的調査

傳染病患者發見方法トシテ淺川町、横山村ノ居住者七千九百三十二人ニ對シ反覆檢病的調査ヲ行ヒタルニ普通病患者ハ其ノ都度相當數發見セルモ傳染病ニ疑ハシキ者ヲ發見セス

(ロ) 病原體保有者檢索

御陵地附近居住者中飲食店料理店等ニ從事スル特種業者及既往五ケ年ニ於テ腸「チフス」バラチフス」赤痢ニ罹患セル者竝淺川ノ流域居住者四千六百一十一人ニ對シ、保菌者檢索ヲ行ヒタルモ保菌者ヲ發見セス

(ハ) 井水ノ消毒並井戸ノ構造改善

御陵地附近ノ町村ニアル井戸ハ二百九十七個アリ、既ニ防疫上完全ナル閉鎖式井戸ニ改善セラレタルモノ九十八個ヲ數フルニ至リタルモ尙開放式井戸ニテ消毒ヲ要スルモノ百九十九個アルヲ以テ之等ニ對シテハ「クロールカルキ」ノ持續的消毒方法ヲ行ハシメタリ

(ニ) 用水ニ對スル措置

御陵地附近ヲ縱横ニ貫通スル用水ハ住民ノ日常生活ト密接ナル關係アリ而モ洗面飲食器具ノ洗滌等ニ使用スルヲ以テ消毒スルノ必要ヲ認メ十一月十三日ヨリ「クロールカルキ」ノ持續的消毒及鹽酸ノ流下ヲ行ヒタリ

(ホ) 川床ノ浚渫

高尾山ヲ水源トスル淺川ニ對シテハ之カ清掃保持ニ努ムル爲川床ノ浚渫ヲ行ハシメ浚渫ニヨリ生スル塵芥ハ總テ燒却若ハ埋没ノ方法ヲ採リタリ

(ヘ) 豫防注射

腸「チフス」豫防注射ハ本年四月ノ候先ツ御陵地附近居住者全部ニ對シ行ハシメタルモ十月二十八日ヨリ一週間ニ亘リ前

回洩レノ分及新ニ居住セル者ニ對シ行ハシメ左表ノ如ク住民ノ大部分ハ之ヲ完了シタリ

淺川町 全居住者ニ對スル豫防注射施行成績

町村別	戸數	人口	豫防注射決定人員	注射人員	完了者	未完了者	不能者	豫定人員對注射人員百分比
淺川町	八二四	四、六八七	三、七〇六	三、四七七	二、七三八	七三九	二九九	九三・八二
横山村	六二六	三、二四五	二、四一六	二、二九〇	一、七二五	五六五	一二六	九四・七八
元八王子村	八七四	四、九六一	三、八七八	三、七五一	二、八九五	八五六	一二七	九六・七二
計	二、三二四	一〇、八九三	一〇、〇〇〇	九、五一八	七、三五八	二、一六〇	五五二	九五・一八

備考 一、豫定人員ハ五歳以下及六十歳以上ノ者ヲ除キタルモノ
二、不能者ハ不在者及虛弱者ナリ

御陵及參道三町以內居住者ニ對スル豫防注射施行成績

町村別	字別	戸數	人口	豫防注射決定人員	注射人員	完了者	未完了者	不能者	豫定人員對注射人員百分比
淺川町	新地	三	六七	五六	五三	四九	四	二	九四・六二
	原宿	四二	二二五	一九四	一八九	一八〇	九	五	九七・四五
横山村	三軒在家	一三	九六	九四	八七	八四	三	七	九二・五五
	中ノ郷	三六	一九三	一七〇	一六六	一五六	一〇	四	九七・六四
計		九四	五八一	五一六	四九五	四六九	二六	一八	九六・三〇

備考 一、豫定人員ハ五歳以下及六十歳以上ノ者ヲ除キタルモノ
二、不能者ハ虛弱者ナリ

以上ノ如ク防疫ノ萬全ヲ期シタル爲從來淺川ノ流域ニ於テ往々腸「チフス」、赤痢ノ爆發的流行ヲ見タルコト尠カラサリシモ今回ハ幸ニ事ナキヲ得タリ

(三) 大禮觀兵式關係防疫措施

大禮觀兵式出場部隊宿營地（麹町、赤坂、四谷、牛込、麻布等）傳染病患者調査ニ關シ陸軍省ヨリ依頼アリタルヲ以テ迅速調査通報ヲ爲スハ勿論、宿營割當ニ付、各町村當局ヲ督シ防疫上ノ危険地區ヲ避ケシムル等遺憾漏ナキヲ期スルト共ニ該地ノ豫防警戒ニ努メタリ、又觀兵式後ノ陸軍大臣主催ノ饗宴ノ調理人等ニ對シ陸軍省ヨリノ依頼ニ依リ健康診斷檢便ヲ行ヒタリ

（四）、大禮觀艦式關係防疫措置
大禮觀艦式ニ於テ御召艦、供奉艦ニ於テ行ハル、饗宴ニ付之ニ從事スル料理業者及花従業者ノ健康診斷及檢便ニ關シ海軍省ヨリ依頼アリタルヲ以テ夫々施行シタル結果「トラホーム」患者二名ヲ發見セリ

八、一般防疫措置

（イ）御大禮記念事業トシテノ井戸改善
井戸ノ構造ヲ改善シ防疫上安全ナル「閉鎖式井戸」トスルコトハ東京市及其ノ附近ノ如キ密集の生活ヲ爲ス所ニ於テハ緊要ナルヲ認メ先年來勸奨ニ努メツ、アリシカ今回本事業ヲ「御大典記念事業」トシテ行フヘク東京府ト協議シ各市町村長ニ通牒シタル結果十月末日迄ニ既ニ三萬五千六百四十五個ノ改善ヲ見ルニ至レリ

（ロ）清潔方法及消毒方法
清潔方法及消毒ナル監視ヲ行ヒ他面行幸啓地區及其ノ他必要ナル地域ニ對シテハ反覆之ヲ行ハシメタリ
消毒方法ハ當時防疫職員ヲシテ立會セシメ遺憾ナキヲ期シツツアルモ特ニ病毒ノ散逸防止ニ努メタリ

（ハ）傳染病患者ノ發見方法
傳染病患者ノ方法中檢病の調査ハ當時地域ヲ選定行ハシメツ、アル結果之ニ依リ發見セル患者尠カラサルモ特ニ管内一齊ニ

實施スルノ要アルヲ認メ第一回ハ四月二日ヨリ、第二回ハ十月十日ヨリ各二週間ニ亘リ實行セル結果別表ノ如ク注意者トシテ發見セルモノ合計五千七百六十四名ニ達シ其ノ内傳染病患者ト決定セルモノ九十二名ニ及ヘリ
死體檢案ハ傳染病患者發見方法トシテ防疫醫及警察醫ヲシテ行ハシメツツアルモ本年ハ昨年ニ比シ檢案スヘキ死者少キニ不拘別表ノ如ク發見率高キヲ示セリ此ハ檢案方法ノ指導督勵ノ結果ナルヲ認メラルヘシ
開業醫師ニ對シテハ早期發見ニ資スル爲七月二十三日、八月十一日、九月二十八日ノ三回ニ亘リ文書ヲ發シ又ハ機會アル毎ニ連絡保持ニ努メタル結果患者診斷時ニ於ケル届出ノ如キハ其ノ迅速ナルヲ認メラルヘク早期發見上ノ效果尠カラサルモノトス

昭和三年四月痘瘡關係一齊檢病の調査成績總括表

總	部郡及市子五八	市 京 東		發見シタル注意患者	決定患者					
		右 調査スヘキ戸數	同上人口		痘瘡	赤痢				
一、〇二二、四七三、四、六九〇、〇五九	六二二、八〇五、二、八〇〇、五三七 六二四、八〇三、八二〇、三九一	三九九、六六八、一、八八九、五二二 四〇二、三六〇、一、九〇一、五〇八	九七九 三三三 二八五 一、六一七	八八二 三三六 二六六 一、四八四	三五 九 九 五三	四 四 四 四	二 一 一 一	一 一 一 一	計	一九 三 一 三
	醫師ノ診察ヲ受ケツ、アルモノ 賣藥品等ヲ用ヒツ、アルモノ ヒサルモノ	醫師ノ診察ヲ受ケツ、アルモノ 賣藥品等ヲ用ヒツ、アルモノ ヒサルモノ	警察官ノ發見數	警察醫防疫醫ノ檢診數	傳染病ノ疑アリトシテ取扱數					
	計	計	同上ノ内	同上ノ内						
	一、四八六 五八三	九四五 二〇九 二二九 一六一 一五四 六三一	一、六一七 二八五 三三三 二六六 一、四八四	一、四八四 二六六 三三六 二六六 一、四八四	一、四八四 二六六 三三六 二六六 一、四八四	一、四八四 二六六 三三六 二六六 一、四八四	一、四八四 二六六 三三六 二六六 一、四八四	一、四八四 二六六 三三六 二六六 一、四八四	一、四八四 二六六 三三六 二六六 一、四八四	一、四八四 二六六 三三六 二六六 一、四八四

計	一、〇二七、一六一	四、七二一、八九九	何等藥品等ヲ用ヒサルモノノ計	四九四	四二〇	一五	九	一	一	八	一	九	三	二
	二、五六二	二、一一五	九	二	一	四	一	〇	一	八	一	九	一	二

御大禮關係一齊檢病の調査施行成績總括表

計	總	市京東	部郡及子王八	調査スヘキ戸數		發見シタル注意患者		決定期患者	
				右	左	警察官ノ發見シタル數	同ノ内	赤痢	熱紅癪
一、〇二五、七一九	一、〇二〇、五七〇	三六九、四八〇	六五一、〇九〇	同上人口	發見別	警察官ノ發見シタル數	同ノ内	赤痢	熱紅癪
七一九四、七九〇	四、七四六、一八二	一、八〇五、一七三	九四一、〇〇九	同上人口	醫師ノ診察ヲ受ケツ、アルモノ	警察官又ハ診察ノ檢シタル數	同上ノ内傳染	赤痢	熱紅癪
八、八五八	六、七二二	二、八三三	二、七五五	計	醫師ノ診察ヲ受ケツ、アルモノ	同ノ内	赤痢	熱紅癪	
六、八五九	六、五二二	一、八三一	二、一七〇	計	賣藥品等ヲ用ヒ	同ノ内	赤痢	熱紅癪	
九、七二五	九、九五四	二、一三三	一、七五五	計	何等藥品等ヲ用ヒサルモノ	同ノ内	赤痢	熱紅癪	
				計					

死體檢案成績表

年別	死亡數		檢案數		檢案百分率		赤痢	癪瘡	猩紅熱	流行性腦脊膜炎	檢案數ニ對スル患者發見百分率
	昭和二年	昭和三年	昭和二年	昭和三年	昭和二年	昭和三年					
自一月	六七、一〇六	六六、八九三	一三、九一九	一〇、七七三	二〇・七	一六・一	一五九	五	一	四	一七・一
至十月	一〇、七三三	六、八五三	一、九二〇	一、四四七	一四・〇	一、四〇	九	一	一	三	一四・三

(二) 病原體保有者ノ檢案竝取締

病原體保有者ノ檢案ニ就テハ患者ノ家族同居人ヲ始メ前保菌者、流行地域ノ居住者等ニ對シ實施シ他面飲食店、料理店等特種營業者ニ對シテハ特別編成ノ檢案班ニ依リ行ヒタルニ左表ノ如ク檢案人員二十二萬七千六百五十三人中百十七名ノ「チフス」保菌者及六十八名ノ赤痢保菌者ヲ發見セリ

保菌者ノ取締ニ就テハ常時努メツ、アルモ特ニ京都市幸啓前一齊視察ヲ行ヒ病毒ノ散蔓防止ニ努メ又保菌者ノ行動ニ付テハ特別編成ノ防疫班ヲシテ監督セシメ御大禮中ノ齒簿拜觀等ハ成ルヘク之ヲ避ケシメタリ

昭和三年 自一月 至十月 「チフス」 「赤痢」 病原體保有者檢案成績表

檢索範圍	檢索數	發見保菌者		發見百分率
		「チフス」	「赤痢」	
患者家族及同居人	一八、〇二九	一五	一	一一・六五
保菌者家族及同居人	一二五	一	一	八・〇〇
前保菌者	四八六	一	一	三三・九二
流行地域居住者	一四二	一	一	一一・一
看護婦	一〇五	一	一	一・九
精神病院患者及其成親	三三四	一	一	三・〇
特種營業者	一八一、四三三	一〇	一	一二・一
宮內省食料品納入者	七、七六三	一	一	一・三

検査範囲別	検査数	保菌者	発見者	見数	発見千分率
患者家族及同居人	一六、八四五	九	一一	二一	一・二五
前保菌者	二二				
特種營業者	一七二、一一四	二〇	二四	四四	二・五六
露店飲食物營業者	六、〇三一	一		一	〇・一七
宮内省食料品納入者	七、七四四	二		二	〇・二六
看護婦	八八				
流行地域居住者	二二				
学校、會社、工場、企業従業者	七、二三三				
京都府、三重、愛知縣へ派遣警察職員及家族	三、〇八四				
合	二一三、一八四	三三	三六	六八	三・一九

昭和三三年 自一月至十月 赤痢病原體保有者検査成績表

備考 其他欄へ他府縣ヨリ轉入シタルモノ及他病院(検査所)ニ於テ決定シタルモノヲ示ス

検査範囲別	検査数	保菌者	発見者	見数	発見千分率
学校、會社、工場、企業従業者	七、六五五	四六	五	五一	六・〇三
全治退院者	八、四八八				
京都府、三重、愛知縣へ派遣警察職員及其家族	三、〇九三				
合	二二七、六五三	八八	二九	一一七	五・一四
患者保菌ニ際シ検査依頼サレタルモノ	八三九	一五	四	一九	二・六五
市ヶ谷刑務所ヨリノ依頼ニ依リ検査シタルモノ	二、一一五	二	六	二	四・七三
其他		二九		三五	

(ホ) 豫防注射

腸「チフス」豫防注射ハ極力實行ニ努メタル結果注射人員百三十八萬三千三百五十二人ニ達シ昨年ニ比シ三十七萬三百五

十二人ノ増加ヲ示セリ

(ハ) 驅蠅

驅蠅ニ就テハ各種團體ヲ將シ驅蠅劑ノ撒布、捕蠅等ヲ行ハシムルノ外、特ニ七月二十日捕蠅デーヲ施行シタルニ、捕蠅數實ニ四千七百七十萬千七百六十四(千五百匹ヲ一合ニ換算スルトキハ二十七石八斗一合二勺)ニ達セリ

(ト) 患者收容場所ニ對スル措置

傳染病院ヲ始メ傳染病患者ノ收容場所ニ對シテハ常時患者ノ入退院ヲ調査シ收容力ニ不足ナカラシメ又之カ取締ニ就テハ本年七月傳染病舍取締規則ヲ改正シテ一層取締ヲ勵行シ病毒散蔓ノ防止ニ努メタリ、又十月ニハ特ニ防疫醫ヲシテ私立病院傳染病舍ノ一齊視察ヲ行ヒタルニ其ノ成績ハ從來ニ比シ何レモ良好ナルヲ認メタリ

(チ) 防疫思想ノ普及

防疫上ノ思想普及ニ就テハ講習、講話會ノ開催、展覽會ヲ催ス等夫々各種ノ方法ニ依リ以テ啓發ニ努メタル結果漸次其ノ效果ヲ認メラレ來レリ本年ニ於ケル開催度數及聽講人員左表ノ如シ

防疫思想宣傳講演會其他開催度數人員調(十二月二十三日現在)

種目	開催度數	人員
講習會	五四	四、三二〇人
講演會	四一八	八三、六〇〇
活動寫真應用講演會	四六四	四六四、〇〇〇
協議會	四〇	八〇〇
兒童話會	二〇二	六二、二〇〇
展覽會	二七	一〇〇、七七二
計	一、一〇五	七一四、六九二

(リ) 「コレラ」豫防

「コレラ」ハ九月下旬隣接横濱港ニ患者發生セルヲ以テ之カ系統及四圍ノ狀勢ヲ調査シ夫々注意警戒シ病毒ノ侵襲ヲ防キ他而開業醫師トノ連絡、死體檢案ノ勵行等ニ依リ初發患者ノ發見ニ努メ又疑似患者ノ檢便等ニ遺漏ナキヲ期シタル結果幸ヒ本病ノ發生ヲ見サリキ

(ヌ) 「ベスト」豫防

「ベスト」豫防ニ關シテハ主務省ヨリノ通牒ニ基キ特ニ輸入貨物ノ集貨狀況ヲ瞭ニシ他面倉庫ニ對スル防鼠設備、除鼠施設ヲ行ハシムル爲、特ニ防疫醫一名防疫監吏四名ヲ專從セシメ倉庫所在數百四十八ニ對シ之カ勵行方ヲ督勵シタルニ相當成績ヲ擧ケ目下改築中ニ屬スル三戸前ヲ除キ他ハ全部設備ノ完全ヲ期シタリ

(ル) 痘瘡豫防

痘瘡ハ本年初頭患者ノ發生ヨリ五月終熄セルモ未タ海外及内地ニ該患者發生シツ、アルヲ以テ常時警戒ニ努ムルト共ニ專ラ種痘ノ普及ニ努メタリ而シテ種痘人員三百十一萬千二百三十四人ニ達シ之ヲ管下居住人口ニ對比スルトキハ六六、四四%ニ及ヘリ

一、經費 國費ノ配布ヲ受ケタル外別ニ豫算ヲ計上セス

(2) 京 都 府

大禮事務局衛生部委員

大禮委員

府會議員	西原雄助
同	荻野孫兵衛
同	奥村甚之助
同	宮崎佐平治

(イロハ順)

大禮事務局衛生部各係長氏名

衛生部長	同	宮内經雄
検査消毒係長	同	森津幸一
検診係長	同	高橋豊三郎
救護係長	同	中村治作
細菌検査係長	同	中川源一郎
衛務係長	同	内川宇三郎
衛生課長	加藤雄吉	
地方技師	西康夫	
衛生技師	山本憲一	
衛生技師	金森熊吉	
防疫醫	會田文雄	
警部	木村孝太郎	

大禮事務局衛生部各係分掌事項

検査消毒係

一、御料品献上品、及天覽品等ノ検査消毒ニ關スル事項

二、皇族ノ御旅館及供奉員ノ旅館ノ衛生ニ關スル事項

三、御成先ニ於ケル消毒ニ關スル事項

檢診係

一、皇族ノ御旅館及供奉員ノ旅館使用人ノ健康診斷ニ關スル事項

- 二、御料品御用品及献上品ノ製作者又ハ御所出入者等ノ健康診断ニ關スル事項
 - 三、御成先及其ノ附近ノ健康診断ニ關スル事項
 - 四、廳員ノ健康診断ニ關スル事項
- 救護係
- 一、大禮事務關係職員ノ救護ニ關スル事項
 - 二、奉拜者ノ救護ニ關スル事項
 - 三、救急藥品ノ調製ニ關スル事項
 - 四、其ノ他救護機關ノ連絡ニ關スル事項

細菌検査係

- 一、細菌検査ニ關スル事項

衛務係

- 一、拜謁者ノ宮内傳染病豫防令ニ關スル事項
- 二、衛生部ニ屬スル文書ノ淨書收受發送及通信ニ關スル事項
- 三、他部係トノ連絡ニ關スル事項
- 四、他係ノ主管ニ屬セサル事項

大禮事務局衛生部検査消毒係

主管事務	十月末迄ノ進捗事務	十月中ニ於ケル實施狀況	十一月中ニ於ケル實施狀況
御用水料御 化ノ水料御 査檢的學	御用水料御 化ノ水料御 査檢的學	十月一日皇宮警察部ト打合セ十月中旬頃試験ノ管ナリシモ今回ハ宮内省ニ於テ検査セラルル事トナリタルヲ以テ當府ニ於テ試験ノ必要	

御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢
御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢
御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢
御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢	御用品御 査檢

先成御 ケ於ニ 毒消ル	館旅ノ員奉供 ス閣ニ生衛ノ 項事ル	關ニ生衛ノ館旅御ノ族皇 項事ル	毒消ノ品覽天	毒消ノ品上獻
山ニ付之ヲ行ハス	泉涌寺ノ御座所ハ宮内省ニ於テ施行セラル、		各御旅館ノ實地調査施行	
皇族御旅館料理納入者 即位禮、大嘗祭、料理調理製者	一二 九	供奉員並ニ參列者ノ宿舍(旅館一六九其他一六二)ニツキ衛生的設備ヲ調査シ料理調理製スルモノニツキテハ調理場飲食物用器具、原料買入先等ニツキ検査ヲナシタリ	各御旅館ヲ訪問シ其衛生的設備ヲ調査シ且ツ料理調理製者ニツキ原料品買入先、飲食物用器具、調理場等ノ検査ヲナシタリ 又水道ノ外ニ雑用ニ井水ヲ使用セルモノ四ヶ所ニツキ水質試験ヲ施行セリ内良三不良一ナリ	消毒施行セルモノナシ 大禮獻上品ニシテ赤坂離宮ニ搬入スルモノハ宮内省ニ於テ取懸メ消毒サルル由ニ付當府ニ於テハ之ヲ行ハス 地方行幸獻上品ハ未ダ何中ニテ十月末マテニ消毒セルモノナシ
皇族御旅館料理納入者 參列者宿舍納入料理飲食店 大饗宴關係材料調理進者 皇宮離宮辦當納入者 大禮使造營部辦當納入者 皇宮警察部辦當納入者 宮内省列任官宿舍賄方	一三 九八 六七 二二 七 一一 二	皇族御旅館十四ヶ所ニツキテハ十月ヨリ引續キ其衛生的設備ニツキ注意ヲ繰返シタリ		

毒消ノ他其品覽天品上獻	査檢買水	査調ノ者製調理料種各
	前肥皇族御旅館ノ井水ノ外泉涌寺引用水、京都市上水道水源地等ノ検査施行 近衛儀仗兵宿舍タル寺院ノ井水検査施行ノ豫定	大禮諸儀給與辦當調理製者 臨時參殿者辦當調理製者 大饗宴材料調理製者 大禮使造營部出張所辦當調理製者 大禮關係場所納入辦當食料品調理製者 宮内省列任官以下宿舍賄方 大禮使車馬部賄方 供奉員參列者宿舍賄方 供御品納入者 右ノ各調理製者ニツキ衛生的設備ニツキ検査施行 一三 一〇
	近衛儀仗兵宿舍タル寺院ニツキ其ノ使用井水九ヶ所ニツキ水質検査ヲ施行セリ	皇族御旅館料理納入者 參列者宿舍納入料理飲食店 大饗宴關係材料調理進者 皇宮離宮辦當納入者 大禮使造營部辦當納入者 皇宮警察部辦當納入者 宮内省列任官宿舍賄方 一三 九八 六七 二二 七 一一 二
	地方行幸獻上品トシテ當御所御滞在申納入ス可キ物品ニ對シテハ當府ニ於テ消毒施行スル事トナリタルヲ以テ其ノ物品ノ種類ニヨリ獻上者ノ自宅ニ技術員ヲ派シ或ハ當府廳内ニ於テ或ハ御所ニ於テ其ノ消毒ヲ施行セリ其ノ總數一七六點ナリ 天覽品ハ第一朝集所ニ於テ陳列セラルル事トナリタルカ其ノ點數多ク且ツ陳列時間短ヲ以テ成可ク技術員ヲ出品者ノ自宅ニ派シ豫メ消毒ヲ行フ事トナシタリ其數一四一九點府廳ニ於テ消毒セルモノ三〇九點朝集所入口ニ於テ消毒セルモノ九六點計一八二四點ナリ 其他大禮使參列者用自動車、人力車等三一九臺及地方賜儀用器物六、七〇〇ノ消毒ヲ施行セリ	

市内及伏見警察署管内水質検査成績表（昭和三年八月施行）

警察署別	検査数	種別	構造状況		化学的検査			細菌検査		総合決定	
			良	否	適	濾過適	煮沸適	濾過適	否	適	不適
川端署	12	上水道併用	12	0	12	12	12	12	0	12	0
中立支署	15	上水道併用	15	0	15	15	15	15	0	15	0
西陣署	10	上水道併用	10	0	10	10	10	10	0	10	0
堀川署	15	上水道併用	15	0	15	15	15	15	0	15	0
松原署	15	上水道併用	15	0	15	15	15	15	0	15	0
五條署	15	上水道併用	15	0	15	15	15	15	0	15	0
七條署	15	上水道併用	15	0	15	15	15	15	0	15	0
下鴨署	15	上水道併用	15	0	15	15	15	15	0	15	0
伏見署	15	上水道併用	15	0	15	15	15	15	0	15	0
合計	120		120	0	120	120	120	120	0	120	0

検査成績（昭和三年十二月末日迄行中左）

検査先別	検査及患者数	検査数	患者数
御旅館料理人其他	2,193	2,193	5
御旅館附近現住者	2,143	2,143	5

検査先別	検査及患者数	検査数	患者数
御少憩先關係者	350	350	1
參列員旅館關係者	2,564	2,564	4
大臣並同禮遇者旅館關係者	864	864	1
宮内官旅館關係者	1,168	1,168	1
外國使臣旅館關係者	339	339	0
獻上品關係者	331	331	1
天覽品關係者	4,160	4,160	1
御用品關係者	3,417	3,417	1
應援警察官宿舍關係者	3,896	3,896	1
農事試験場關係者	3,095	3,095	1
御所出入者	3,293	3,293	1
接客業者其他	4,956	4,956	1
供納材料検査員	5,203	5,203	4
練習所巡查員	879	879	1
皇宮警察部關係者	319	319	1
京都府廳員	1,095	1,095	1
合計	39,986	39,986	18

検査成績

（昭和四年十二月末日迄行中左側）
（ノ數字ハ十一月一日以降ノ分）